



No.244 2018.5.11

発行所 ちば北部健康友の会

〒263-0016

千葉市稲毛区天台1-19-11

電話・FAX

043-206-0560



松本 典子

みんなの医療

体制強化で運動発展を

第46回 友の会定期総会

ちば北部健康友の会第46回定期総会が4月21日、健康会館で開催されました。

総会は議長団に麻生さん（幹事）と伊藤美砂子さん（てんだ）と伊藤美砂子さん（てんだ）

原点を力説。鈴木友の会県連会長は、引き続き全県の先進的役割を期待すると激励されました。

役割体制

総会で選出された幹事と会計監査、および第1回幹事会で互選された四役をご紹介します。（五十音順）

議長に入り 渡邊事務局長（事務長）が活動方針案の提案説明をおこない、これをめぐって10名の積極的な発言がありました。大岡さんが機関紙活動を。篠崎さんが保健部の活動を。石塚さんが平和・憲法を守る活動を。小川さんが天台健康体操会の活動ぶりを。

- 【会長】 木島 宏 園生町
- 【副会長】 石塚 節子 緑町
- 中村 先勝 椿森
- 【事務局長】 渡邊喜代子(新) 職員
- 【事務局次長】 長谷川詠香 轟町
- 【幹事】 麻生 定雄 園生町
- 石川 泉 磯辺
- 伊藤美美子 作草部
- 岩崎 勇 小仲台
- 大岡 忠夫 千草台
- 大野 和夫 園生町

- 岡元かほる 職員
- 小川 順子(新) 職員
- 小川 マキ 天台
- 木島よし江 園生町
- 桑原 京子(新) 職員
- 小西 昭二(新) 東千葉
- 小林 武徳 園生町
- 椎名 福雄(新) 天台
- 七戸智佳子(新) 職員
- 篠崎 ひさ 轟町
- 瀬下千鶴子 穴川
- 高木 孝子(新) 宮野木町
- 武井與里子(新) 園生町
- 友寄 和子(新) 千草台
- 西村 整 天台
- 根本 勝利 職員
- 操 あい子 長沼町
- 三船 厚子 作草部
- 吉田 直義 あやめ台
- 【会計監査】 臼井 昭子(新)
- 大竹 敏彦

活動を。山本さんが地域支援室のケアマネージャーの活動を紹介しました。
次に長谷川事務局次長が2017年度決算と2018年度予算案について提案説明をしました。
総会は挙手により全会一致で活動方針と決算・予算を採択。幹事選出に移り、幹事会の提案した推せん名簿を全会一致で承認しました。
このあと第1回幹事会で互選された四役が紹介され、歴史的な総会は幕を閉じました。

くるしお

祖母から聞かされていた狸談のいくつかを記しておきたい。
《桜切る馬鹿梅切らぬ馬鹿》近くの公園の桜は今年も見事に咲いた。10数年前の若木が今や堂々たる枝ぶりです。後に植えられた若木を従えている。桜は枝が折れたり下手に切つたりするとそこから腐つたりするという。逆に梅の木は枝を上手に切らないといけない。自然のままの梅の木は伸び放題の枝の先に見栄えのしない見栄えのしない花がつくだけ。物事にはそれにふさわしい対処をしないといふことと▼《百里の道を旅する者は九十九里を以つて半ばとす》何とも含蓄のある言葉でことあるごとに浮かんでくる。高速バス、新幹線、飛行機で日本中・世界中どこへでもあつという間に行けてしまう現代。先人の苦労の多い日々の暮らしのなかから言い継がれてきた教訓を大切にしたい▼《着物帯柄 羽織裏柄 とも（父）かか（嬢）柄》綺麗な着物も帯の色柄によって一層引き立つものとなり合わなければ冴えないものになってしまうということ。羽織の良しあしもある裏の柄で決まり、かかあ（嬢）の良い人柄に接すればととう（夫）がどんな人物かの想像もつくものだという事。診療所の良さも友の会の姿を見ればわかるといふことか。《診療所友柄》

ちば北部健康友の会 第46回定期総会 活動方針

第1章 情勢の特徴

(1) 総選挙の結果、自民・公明が議席の3分の2を占め、その勢いで安倍政権は、憲法9条改憲へ突き進むようとしています。しかし、それは自民が比例代表の得票率で33%、有権者比得票率で僅か17%なのに衆議院議席の61%を確保するといった、小選挙区制のからくりによるものです。「森友・加計疑惑」にみられる政治の私物化、アメリカに追随して核兵器禁止条約に反対し、沖縄の米軍基地建設を強行するなどの強権政治は、国民多数の反発を招いています。

(2) 安倍政権は軍事費を増大させながら、社会保障費を削減する政策を露骨に推し進めています。医療では、75歳以上の窓口負担を2割に引き上げ、介護では、要介護1・2の在宅サービスを保険給付からはずし、生活保護では子育て世帯を狙い撃ちした加算・扶助費の削減など、大改悪を国民に押しつけています。大企業には減税し、庶民には消費税10%を押しつける。労働者には、非正規雇用を増やし、

過労死水準までの残業を合法化する。農家の所得保障制度を廃止し、農産物輸入を推進して日本農業を衰退させる。このような安倍自公政治と国民の矛盾は深まるばかりです。

(3) 大企業、富裕層は潤うが、庶民の懐具合は寂しくなっています。いま社会の高齢化が急速にすすみ、団塊の世代がすべて75歳以上となる2025年には、国民の3人に1人が高齢者(65歳以上)と予測されています。老後のくらしと医療の不安は深くことが求められています。

刻です。それはまた極端な少子化と同時進行です。低賃金と長時間労働に苦しめられ、将来の展望をもてない若い世代に、結婚と育児を避ける傾向がうまれているといわれています。

2025年問題は高齢者対策にとどまらず、少子化対策から雇用、地域社会の問題もはらみます。このような深刻な社会問題は、政治分野では野党と市民の共闘によつて打開するしかありません。社会保障分野では、民医連を中心とする無差別・平等の医療・介護・社会保障をめざす草の根の運動をひろげることが求められています。

第2章 この1年間の活動のまとめ

第1節 この1年間の活動の特徴

(1) この数年、私たち友の会は、①会の運営を民主化し、②北部診療所建て替え事業に貢献するとともにその過程で友の会・診療所の定期的な協議体制を確立し、③友の会の名称を改めて地域に活動を広げる条件を整えてきました。その基礎の上に、この1年間新しい前進を遂げました。

(2) 会員の要求にこたえ多彩な行事、活動を繰り広げ、春と秋のバス旅行が満席となり内容も好評だったように、これまでにも好評だったように、これまでも多くの会員の参加を見ることができました。

(3) とくに、介護予防の健康体操の普及に努め、4ブロック、5会場で定期開催するようになった。

(4) 地域包括ケアのとりくみをすすめる立場から、千葉市との協力関係を深めるとともに、医療介護の専門的な業務に携わっている診療所職員と地域的な活動にとりくんでいる友の会とがより緊密に協力して、診療所エリア全体に医療、介護、社会保険の切れ目のないサービスを提供できるネットワークをつくるよう、共同で取り組む体制づくりがすすみました。

(5) こうした前進の反面、高齢化にともなう幹事および会全般の活動力低下は否めず、とくに会費納入状況の低迷を打開することは当面の大きな課題です。

第2節 各分野のとりくみ

(1) 健康づくり

- 健康体操会は、園生、天台、千草台、椿森の4ブロック・5会場にふえ、これまでに合計107回、参加者は136人延べ1167人となりました。(3月末現在)。みんなが集まって楽しくやれる健康体操は、どこでも好評で、市民の健康志向の高さを示しています。
- 轟町の「轟カフェ」は、5回延べ42人の参加、作草部の「ほへみ会」は、4回延べ29人の参加と活発におこなわれました。
- 食事は、8月を除く毎月ひらかれ、延べ74人の参加でしたが、ボランティアと参加者の確保が課題です。
- 保健講座を「かかりつけ薬剤師を持つ」とのテーマでひらきました。

(2) 住みよいまちづくり

- 地域包括ケアにとりくむ上で、友の会は千葉市と連携してきましたが、12月には、友の会四役と推進課課長とで座談会をひらきました。
- 日頃、医療、介護の第一線

(3) 社会保障制度の改善と

- 平和・憲法を守るとりくみ 例年通り原水禁世界大会にむけて網の目行進にとりくみ、平和カフェもおこなわれました。
- 全国的課題の「安倍9条改憲NO」憲法を生かす全国統一署名と「ヒバクシャ国際署名」に取り組み、3月末で統一署名558筆で、ヒバクシャ署名493筆の到達です。
- 平和・社会保障関係の活動に友の会、診療所および職員労働組合が提携してとりくむ体制をつくりました。

(4) 親睦と交流

- 第39回納涼盆踊り大会は、盆踊りを中心に多彩な内容で盛り上がりしました。
- 春のバス旅行は長瀬ライン下りと川越小江戸横町、秋は城ヶ島と三浦三崎のマグロ料理と魅力的な旅で、いずれも大

(5) 機関紙活動

- 友の会の機関紙「みんなの医療」は、年間6回発行され、会の活動方針や活動ぶりをつたえ、会員交流をはかる働きをしています。また、医療・介護に関する情報紙としての役割をはたしています。
- 今後も、編集スタッフの増強、手配り体制の強化が求められています。

(6) 友の会を強く大きく

- 「友の会拡大強化月間」(10月~11月)を中心に会員拡大に取り組み、32名の入会の成果を得ましたが、依然として退会者を上回ることができませんでした。さらに健康づくり、親睦などの活動をひろげながら会員拡大に実をむすぶようとりくみの工夫が必要です。
- 平和・憲法、社会保障などの学習がとりくまれましたが、十分ではありません。
- 会費納入を促進するとりくみで若干の前進がありました。

りました。障の切れ目のないサービスを提供できるネットワークをつくるよう、共同で取り組む体制づくりがすすみました。

バス満席でした。

3 新春のつどいでは、脳トレゲームや最高齢の方が飛び入りで民謡を聴かせてくれるなど参加型の楽しいつどいになりました。また、サークル活動が活発にとりくまれ、健康体操会で

いつせいに新年会を催して親睦をふかめました。新春のつどいと地域でとりくまれた新年会を合わせると100名を超える参加者となりました。

4 健康体操会の運営に積極的に参加することを通じて、会の活動の担い手が育ってきました。

(7) 北部診療所をはじめ、民

医連・諸団体との協力共同

- 1 診療所管理会と友の会四役との定期的な協議がほぼ毎月おこなわれています。
- 2 また、無差別平等の地域包括ケアを進めるために、診療所職員と友の会役員の代表による定期協議会を開くようになりました。

第3節 ブロック、班の活動

- 1 介護予防の健康体操会が園生、天台、千草台、椿森の4ブロック（小中台中・都賀中・千草台中・椿森中の各中学校区にほぼ対応）5カ所で開かれています。園生ブロックでは、園生三和（園生小）、園生町（柏台小）と、2つの小学校区で開かれるようになりました。
- 2 健康体操の指導者として、千葉市シニアリーダー講座を受

第3章 2018年度活動方針

〈スローガン〉

○北部診療所とともに、健康づくりと安心して住み続けられるまちづくりをすすめるよう

○会員の要望にこたえる活動で仲間を広げて、強く大きな友の会をつくらう

第1節 今年度の重点課題

1 会員が年間を通して何らかの活動・行事と関わりを持つよ

した。さらに、平和・社会保障分野の署名運動などを共同ですめるために、友の会、診療所、職員労組の三者による協議会ももたれるようになりました。

3 診療所待合室の「友の会コーナー」が友の会の情報をお知らせし、会員・患者と役員が交流する場として使われています。

4 第2回子ども診療所体験には、前年を上回る8名の参加がありました。

第2節 各分野の活動

- (1) 健康づくり
- 1 地域の人びとの根強い健康志向にこたえ、健康体操会を定期的に発展させます。
 - 2 すべての会員に、健康づくり、早めの医療のお手伝いをします。
 - 3 北部診療所と提携して、団地コーナー、スーパー店頭など、条件のあるところでの青空健康チェック、体操会などと結びつけた健康チェックをおこないます。
 - 4 健康講座、ウォーキング、食事会などをおこします。
- (2) 住みよいまちづくり
- これから急速に超高齢化がすすむなかで、一人ひとりの健康づくりとともに、安心して住み続けられるまちづくりにとむことが大切です。健康づくりから医療・介護・生活の全般にわたり切れ目なく保障される地域をつくることをめざし、活動していきます。
- (3) 社会保障を
- 1 社会保障の理念、制度、実態、その改善などの学習にとりくみます。
 - 2 社会保障を縮小、改悪する

り、また子育て世代など若い層に友の会の活動分野を広げるようにします。

4 全会員が会費を納めるようにします。

あらゆる面で協力共同を貫きます。

2 年金者組合、千葉土建、民主商工会、新日本婦人の会など基本的な目標、役割を共有する民主団体と協力して活動します。

3 地域の団体、事業所とも親交を結び、民医連、北部診療所、友の会の活動への理解を広げるようにしていきます。

第3節 友の会を強く大きく

- (1) 学習
- 健康をまもり、住みよいまちづくりのために健康・平和・社会保障の学習をしていきましょう。
- (2) 機関紙活動
- 1 機関紙「みんなの医療」で会員同士の交流をはかります。
 - 2 手配り者をふやして手配り率を高めます。
 - 3 「いつでも元気」誌を活用します。
- (3) 仲間ふやし
- 1 健康をまもり、住みよいまちづくりのために大いに仲間をふやしましょう。
 - 2 ささまざまな行事・活動に熱心に参加した人たちに、また北部診療所の患者さんたちに、折にふれ入会をすすみましょう。
 - 3 会員の年齢構成が年々高くなっており、とくに壮年・子育て世代を会員に迎え、活動の工夫、改善が求められます。幹事の会の「若返り」は急務です。
- (4) ブロック、班
- 1 会員が集まって自主的に親睦・交流を深める班をつくり、より多くの会員が参加できるようにしましょう。
 - 2 ブロックごとに医療、健康に関する講座、親睦会、体操会

などの活動をゆたかにすすめるしょう。そのためにブロック会議をおこします。

(5) 財政

- 1 会の活動を財政的に支える柱は会費であり、会費納入率をたかめるよう一段の努力が求められます。
- 2 会費納入を中心に会の財政力を充実させ、会より活発な活動を支えるにふさわしい財政のあり方をめざします。

「無差別・平等の地域包括ケアの土台となるのは、基本的人権が尊重され誰も置き去りにされない地域社会であり、それを保障するのは、公的制度の拡充と地方自治、民主主義です。」

「健康づくりでは、脳いきいき班会、転倒予防体操、すこしお運動、笑いヨガなど、共同組織を対象としているだけでなく、地域に開かれたとりにくみとして広がっています。」

「あらためて『安心して住み続けられるまちづくり』をとおし、共同組織の担い手づくりをすすめることを意識してとりくみましょう。」

(民医連活動方針より)

千葉公園は桜が満開

第12回 歩こう会 3/29



千葉公園の池（左手）をめぐる。右上にモノレールが走る。

初めて歩こう会に参加しました。普段はバス旅行くらいしか友の会の皆様と交流できることがなかったのですが、この度は大変嬉しかったです。

友の会の皆様の日頃の努力の成果が現われたものでしょう、晴天に恵まれ、桜も満開という歩こう会開催の日としては最高

日頃は青森に住んでいる私も参加することができ、千葉公園まで歩くのが、様々な話で盛り上がり、まだまだ青森では感じられない陽気に喜んでいました。

この度は親子で参加させて頂きまして、ありがとうございました。（師長 七戸智佳子）

3・1ビキニデーに参加して

検査 本間 藍

1954年3月1日、アメリカは中部太平洋にあるマーシャル諸島のビキニ環礁で、水爆による核実験「ブラボー」を強行。使われた水素爆弾の威力は広島型原子爆弾の1000倍。舞い上がった放射性降下物は太平洋に広がり、遠洋漁業などをしてきた1000隻を超える日本の船が被災。

俳句
香脱の臥牛石なる花の冷えかえる
お花見は上野と決めて三十年 艸々子
たらの芽やえぐみほのかに肴とし まちこ
四月馬鹿見たり聞いたりためしたり 秀夫
あてやかなはまぐり菜の花京料理 大和
桜もち葉の香大好き花見かな 美智子
目刺し焼く葉しべ竹串もろともにも 榎
建売の完成を見る菱坊主 億久江
すりこぎの安らく音や木の芽和 だん児
春探し血圧計へ腕あずけ 定子

友の会活動日誌

- 1・27 機関紙部会（3月号企画）
- 2・13 椿森ブロック 健康体操会（第16回）
- 2・15 園生町 体操教室（第15回）
- 2・19 千草台班 健康体操会（第21回）
- 2・20 天台ブロック 健康体操会（第19回）
- 2・21 3月号入稿
- 2・27 椿森ブロック 健康体操会（第17回）
- 2・27 友の会と診療所の協議会
- 3・1 園生町 体操教室（第14回）
- 3・2 第2回 地域包括ケア推進委員会
- 3・2 第1回 平和・社保三者協議会
- 3・5 千草台班 健康体操会（第23回）
- 3・6 天台ブロック 健康体操会（第20回）
- 3・8 園生班 健康体操の会（第27回）
- 3・10 幹事会

職員紹介



介護職
須永 純子

4月1日付で、ヘルパーステーションなのはな幕張より天台へ異動してきました。今は、道、お店、病院等地域を把握するのに必死です。地域に溶け込み利用者の方々が安心して在宅生活を送れるよう、明るく元気に頑張ります。よろしくお願い致します。

職員異動

谷内 早苗

なのはな幕張へ

退職

和田 美由紀

診療体制

2018年5月～

都合により担当医師が変わることがあります

	月	火	水	木	金	土
午前	秋谷	秋谷	秋谷	秋谷	秋谷	1・3・5 秋谷 2・4 交代 加門(予約) 胃カメラ
午後	西村	休診		乳児健診 秋谷	休診	休診
往診	谷山	秋谷	高木	山本	秋谷	
夜間	秋谷	(交代)	秋谷	井上	(宮村)	

(月)午後の受付時間は第1～第3、第5週は13:30～16:00。第4週は15:30までとなります。